京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜報

國民經濟の內容
(會長俞吉濬の談)

韓國が貧弱なる半島國たるは今更喋々を要なし單に輸出入の額を一瞥したるのみにても輸出は一千五百萬圓、輸入は三千五百萬圓にして約二千萬圓の輸入超過にて今日にして之が救濟の方法を講ずるに非ずんば韓國は年と共に却はり益々衰滅の外なからんとす從て於てか之が善後策に關し百方熟議を重ねたる結果新たに國民經濟會なるものを創立し產業の改良貿易の發達等企圖し以て國利民福を增進せんと欲するに至れり過般全羅道に赴きたるは一に之等の下調に外ならず卑近なる例を以てすれば全羅道一帶の地は蠶絲及び紙類の物產に富むも經營勢力に缺き商民は之に改良を加へ販路を擴張する方法を知らず既に日人の使用せる疊表は悉く日本より輸入せられたるものにして品質は朝鮮產のものに劣れるにも拘はらず其の價格極めて高し適宜の方法にて之を改良し日人向の寸法大なる疊表を製造せば需用は不斷なるのみならず價格も頗る低廉に出來ずべし又鴨綠江以北の地に於ては風力の加減にて各戶共朝鮮紙を愛用しつゝあれどかつて之に伴ふ供給をなしたるを聞かず斯の如き狀勢にて徒らに國富を開發せざるのみならず一面には金融逼迫の爲め資產家にして破產する者輓近に至り殊に多きを加へたるが如し生產者は眼前に國富を積んで之を開發するの能力を欠ぎ資本家は資本を運轉流用する術を解せずもし現今のまゝに放擲せば年ならずして韓國は經濟的に亡滅すべし經濟會はこの急を救はんとして起りたるものにて會員は二百五十名ばかりありいづれも事業家資產家等なるが一年二百圓位づゝ醵金せしめ破產に瀕したる場合それが不法なる負債に非ざる限り財產目錄等を徵し實際を調查したる上その金員を流用して資本家の破產を未然に防ぐと共に各地方には支部を設け絕へず產業の狀勢を調查し需用供給の平衡を保たしめ幹部たる京城に於て販路擴張を圖り又一面生產過多等の恐慌を來さしめざらん事を圖り資本家と生產者との關係を完全にし以て國益を增さんと欲するにあり右につき過般商業會議所樓上にて發會式を催ふし會長に俞吉濬總裁に李載完副會長に趙鎭泰を推擧したるが席上發會の趣旨を贊し一切外國より輸入する貨物を購はざる方法を執らんなぞの奇問にも接し經濟狀態の世界的なる事、消極的姑息の商略を避け須らく積極的進取的商戰を試むべき旨を縷述し置きたり云々と國民經濟會長俞吉濬は語れり

市場取締の訓示

松井警務局長は各警察署長に市場稅に關する訓示して曰く市場稅徵收開始以來市場商民往々之れに不滿を唱へ爲めに一大騷擾を釀したる地あり他の地方に於ても市場商民亦多少の不平を抱かざるなく以て之れに對する警察取締は此際頗る緊要なるを認む市場の取締は此の集合せる群集を對象とす故に一朝措置當を失する如きことあらんか之れが爲め不測の騷擾を惹起し延て人心乖離の端を釀すことなしとせず從て之れが取締を爲すに當りては必ず愼重の考慮を要するものあるは勿論宜しく時と場合に應じ緩急度を量り寬嚴當を失せず臨機適應の措置に出でざる可からず面して直接取締の任にある者は豫て稅則の大要に通曉し之に對する人心の歸向を察知し由て以て危害豫防の方策を講ぜざるべからず且市日當日には必ず制服巡查を出張せしめて表面の取締に任ぜしめ更に私服巡查を派して其內情を偵察せしむべし取締に際しては斷じて其必要以外に逸すべからず市場に於ける秩序の維持及徵稅官吏の保護に留意することは勿論なりと雖商人に對し徒らに威嚇を加ふるは力めて之れを避けざるべからず故に徵稅官吏身邊保護に口を藉り之れと共に店舖に臨み恰も武裝的徵稅の感を抱かしむるが如き或は之れが請求を受くるや直に威力を示して其徵稅を援くるか如きは唯商民の怨嗟を買ふのみにして素より警察の本旨に副はず某市場に於て商民稍や喧躁するや巡查直に拔劍し威壓を試みんとしたるに却て紛擾をなさしめたることあるやに聞込めり此の如きの事例に鑑み取締上特に一層此邊に留意せらるべし

密貿易地の調査

密貿易の情況に就き近頃其筋にて調查したる處を聞くに密商の地域は濟州島楸子島所安島巨文島等にして以上四島は各島嶼中殊に海產物に富み第一濟州島は韓國本土との交通頻繁ならざるに反し日本國との交通は漁船又は帆船に依り行はれ是等に依る密輸出入年額は統計の徵すべきものなしと雖其額少なからず又楸子島は漁期に際し多數の日本漁民來集するを以て密商多く所安島は一小島なるも有名なる漁場なるが故に漁期には百名以上の日本漁民出漁し此他光州灣、岩羅州、法聖浦、莞島、麗水、海蒼等に於ける物價が輸入港たる木浦に比し稍低廉なるは密商行爲の反應にして其手段は五十屯內外の帆船に陶器、木綿、其他の雜貨を搭載して日本より前記諸島に直航し海產物を買入れ日本へ密輸出を爲し又沿岸航路船を利用し釜山及馬山港を物資の策源地として砂糖、酒類、烟草等を取締薄き島嶼並に沿岸に移出し巧みに沖合にて積移しを爲すものあるに付き其筋にては日本稅關と相互聯絡を取り之れが檢擧に努め居れりと

●釜山民團の教育費

釜山民團本年度教育費は昨年度より一萬五千餘圓の增額となりたるが今之を各學校別に示せば左の如し

學校名	本年度	昨年度
商業校	二、六五一圓	一〇、〇五一圓
女學校	一三、二一〇	一一、〇七六
尋高校	一五、九七八	八、六六六
釜山校	一四、四四一	一四、一四五
牧島校	四、四四六	二、九九八
草梁校	六、八二三	五、五二三
計	六六、五五〇	五二、五五九

●兇漢安重根埋葬地

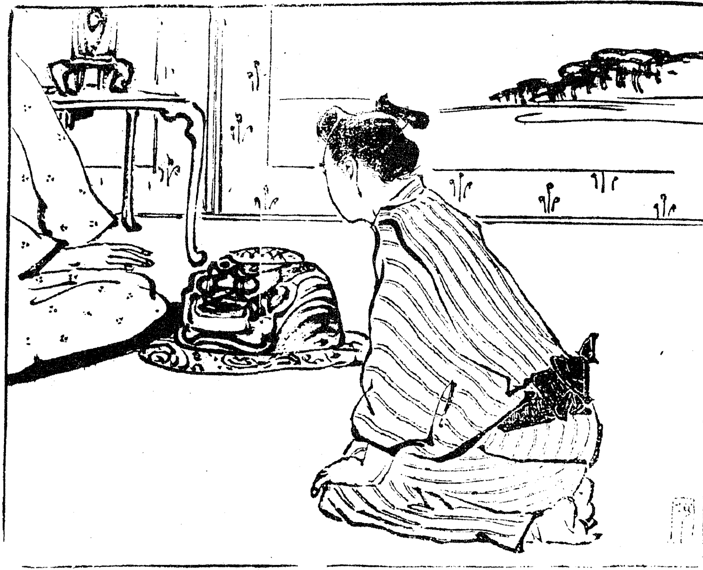
兇漢安重根は獄中に傲語して獨立完成の期迄は死骸はハルビンに埋葬せよと遺言せしが元來墓地の撰定は風水に依りて占卜すべき習慣ありて實弟等も之に應ずるを好まず且つ子孫の安寧幸福を祈らんには韓國に葬るこそよけれ遺言の如何など顧慮すべき限にあらずさ唱へ居れば從弟安命根旅順到着の上一同相議を遂げ多分韓國へ運び歸るならんと云ふ

●傳染病院增築計畫

當局に內部衛生局に於て京龍に三箇所の傳染病院を新設せんとの內議ありしが經費其他の都合にて沙汰止みとなり北部順化病院を增築し漢坡病院を分院として當分其の用に備ふる事となりたるが順化醫院在來の病室は韓人患者百名を收容する事とし日本人患者は從來の病室と新築の一部とを以て之れに充て約七十名を收容する豫定なりと而は增築の建物は醫局藥局事務室約四十坪、細菌檢查室約三十坪、蒸濊消毒部約三十坪にて修理增築に要する豫算は三万八十五圓の由なり

日本銘刀傳
第六十四席 邑井一講演

祐實は祐廣の妻のたさよに夫が相場村にて變死の次第を話しまして 祐「扨て然う云ふわけだから、復讐は此の祐實が能くする、如何にも祐廣は一家ためには忠義ではあるし、且は何處までも我が後目にしやうと云ふ心持であつたゆゑ、其の代りに此の伜春太郎を成長させ、刀鍛冶の極意を讓つて必ず我が後を續がせる心得だ、就いてはお前は女のことだに依つて、此の子を大切に育て警敵なさんと云ふてとは、更に胸に置かんやう、何事も天の爲す所と思つて呉れ、此の祐實は右の精神であるから、然やう心得て居れよと、噛んで含めるやうに言ひ聞けましたから、淚を流してれさせも喜び、愈此の子の成長を待つ、虫氣もなく三歳となる、其の三歳となつた時もう母の手を離れても別段のことはない、師匠の後目の秋廣は最後を遂げると、今鎌倉に於て大進坊佐慶は祐實の勢ひに壓されて、祐實でなければならんやう、其のうちに此の母親のさせは、鎌倉松ケ岡の尼寺に這入つて尼となりました、名前を善如尼となつて、伜春太郎の成長を願りに念して、此りやわもう俗を離れて立派なものにしやうと、一つには夫祐廣へ對して、操を破らんがため、斯く相成つたので、其の志は誠に感ずべきもの、スルト此方は手許へ春太郎を置いて三歲から追々成長して、最早十二歲となつた、爰で愈仕事場へ出して刀鍛祐の道を敎へます、又た此の子が能く覺ねる、十三十四と經ち十五となるさ、火加減と云ひ湯加減と云ひ何れも自分が手に取つて敎へて居る、亡父の祐廣の一念が此の子に乘りうつつて居るか、益々腕前は上達をする許り、サア何うも大したことだ、何しろ是れ程の者だに依つて、追々と評判になつて春太郎で打つて居る、愈々十七歲の時に祐實 祐「さて春太郎此度た前に祐實と云ふ名前を讓つて、私は隱居をする、れ前の打つた刀は祐實の銘を彫て何れへ出しても此の祐實に優るとも、劣ることはないと、目定めたから、今日より祐實の名をれ前に讓る、春太郎大いに喜びまして 春「師の御丹精を持ちまして、爰に祐實の御名前を頂戴して有難い、又た九郎次郎廣光新藤吾國廣、何れも祐實から 祐「春太郎を祐實にするに依つて然やう心得て居れ 兩人「誠に我々も喜ぶべき所、定めし祐廣が冥土黃泉にて喜び浮みまするであらう、愈々名前を讓り一同喜びの眉を開ひたとき 祐「さて私は是れから隱居して祐眞と名乘るから、然う心得て呉れ、そこで春太郎……さてれ前に言つて聞かせることがあるから能く聞け、今より十七年前れ前が母親の胎內に居る時に、其の方父の祐廣は此の祐實の供をして、京都に上つて御番鍛冶を受け取らうと云ふ砌、市場村と云ふ東海道水口の手前、爰に一夜宿つた時に、大進坊左慶の甥三郎長義のために殺されてしまつた、夫れ故れ前を丹精を致して、我が名前を讓つたのは、此の祐實のために死を遂げたるも同然、然ればは今年は十七回忌、市場村へ參つて父を葬つたる乘異寺と云ふ寺にて、其の法會を懇に致して、靈魂を慰めて遣はさうと思ふに依つて參れ、又た三郎長義は是非とも此の方の討たねばならん理屈もある、必ず共に歎くな 春「アツと云ふと春太郎の祐實は今までは我父の顏も知らず、母親は只だ父は病死のやうに申聞けあつたが、只今養父の祐眞から承はれば、右の始末、流石に父を見知らず、世の中に成長をしたが、我身体を拵らねて呉れたる實父の最後と、暫時落淚をしたが 春「師の仰せの如くなまじ物心を知つて、父に先立たれたるとは事違ひ、母の胎內に居つた頃のこと、併し嘸かし御無念でございましたらう、此の上からは私は師の仰せに從つて、市場村へ參り充分に父の佛事を營なむでござけいませう、爰で祐眞祐實、新藤吾に誂あつた仕事が忙がはしくつて、此の法事は殘念ながら行かれないと云ふことで、そこで九郎次郎廣光は行かうと云ふので、三名に供を一人連れまして四人で市場村へ參りました、庄兵衛方を尋ねて愈乘異寺へ參りました。



東京電報

▲横須賀軍港の疑獄

横須賀の造兵部書記職工は商人と結託し無線電信用プラチナ其の他の艦材用鋼鐵及大綱等約十萬圓の物品を數回に竊取し賣却したる事發覺し古物商連累者十名と共に拘引せられたり調査の進行と共に其の他高等官の拘引を見るべしと噂せらる（十日）

▲貝勒殿下の歡待

濤貝勒殿下御渡日後御旅館には芝離宮を以て之に充て衞生儀仗兵は近衞騎兵聯隊より派遣し陸海軍大臣參謀總長は殿下一行を招待し盛大なる宴會を催し一方陸軍省にては近衞又は一師團の在京部隊聯合演習を一行の觀覽に供する筈なり（十一日）

▲公債償還の發表

大藏省は海軍公債七百十九万圓及び整理公債四千三百萬圓を四月三十日償還する旨發表せり（同上）

▲軍艦生駒の壯途

南米亞爾然丁共和國紀念祭に派遣せらるべき軍艦生駒は來る十五日横濱を發し遠征の途に上る今回の航路は喜望峰を迂回する豫定なるが之れを無事通過し得れば我が海軍界に大なる利益を齎すべく又バルチック艦隊回航の一大疑問を解くに至るべし（同上）

▲救恤金問題の可決

日露戰爭の際罹れる城津方面の救恤金は二十五萬圓支出に委員會にて可決せり

▲同志會員の再渡韓

朝鮮問題同志會は更に韓國の近況を視察せしむる爲め會員五百木良三氏を出發せしむるに決し同氏は十三日渡韓の途に上る筈なり（同上）

北京電報

▲貝勒殿下の渡日

淸國陸軍貝勒殿下には軍諮司陸軍少將哈漢章、同李經邁、良保の兩少將大佐三名中佐四名少佐二名大尉三名の隨員を從へ來る二十日北京發日本陸軍視察の途に就かる殿下は四月六日迄約二週間御滯在の豫定なり（十一日着）

地方電報

▲鐵道問題と祝賀

京元鐵道布設の議貴衆兩院を通過せしより日韓官民全部今夜提灯行列を爲し祝賀の意を表せり（十日夜着）

雜報

韓太子の御歸國

既報の如く韓太子は本年八月上旬暑中休暇を利用し約一週間京城滯在の豫定にて歸省あらせらるゝことに此程我陛下より御允可ありたるやに承はる隨行者は輔育總裁岩倉公、古谷、栗原の兩御用掛其他二三の人々なりと

鐵道布設の決定

一昨十日龍山鐵道期成會委員大村氏よりの來電に依れば同日京元、三南兩鐵道案は貴族院本會議を無事通過するに至りし由なるが是に就き京城同期成會に於ては近日中會員を集め同報告すると同時に今後の方針を議すべしと云ふ

民籍調査の進捗

先年警務顧問時代に於て韓全國の戸口調査を爲したるが當時は經費其の他調査員不足の爲め充分なる調査を遂ぐる能はず從て調査の結果も甚だ不正確の譏を免れざりしが內部警務局にては之を遺憾とし曩に民籍法を發布し昨年七月憲兵隊と協力して同國の民籍調査に着手し種々の困難を排して鋭意調査に從事したる結果事務大に進捗し既に略ぼ調査を終り觀察府に於て整理中なりと而して平安南道及全羅北道の戸口は昨日內部警務局に報告審達したり今該調査と顧問時代に於ける調査とを比較するに左の如し

△平安南道の部

	戸數	人口
前年調査	一五六、一三四	六六九、〇一七
今回の調査	一六六、三七〇	八三三、三一〇
比較增	一〇、二三六	一六四、二九三

△全羅北道の部

	戸數	人口
前年調査	一五七、四二三	五九七、三九五
今回の調査	二〇二、三三八	九八八、九八八
比較增	四四、九一五	三九一、五九三

暴動後の西韓地方

（松井警務局長の談）

暴動後の西韓の近狀に就き松井警務局長は記者に語りて曰く順川は國友平壤警察署長特に該地に出張して鎭撫に努めたる結果全く靜穩に歸したるのみならず一方彼等に於ても曩の暴發以來物資の供給杜絕し稀有の不景氣を釀し且つ人心恟々として夢寐安かなる能はざる苦痛を嘗め其輕擧妄動を衷心悔悟し居れり目下嫌疑者として逮捕せるものゝ內既に起訴の手續を了し平壤地方裁判所へ送致せるものは二十七名に達し他は取調べ中に屬するが市民等は當然の天罰として諦め隱遁中のものも弗々歸來するに至れり又場市も檢擧せる犯人十四名あり更に又安州も十七人の嫌疑者逮捕に就き取調進行中なるが之に對する民心の情況は槪して順川の如く漸次靜穩に歸しつゝあり是れ則ち當局熱心の效果にして特に順川に於ける國友警視の盡力は大に多とすべく平積檢事長も非常に滿足し居れり然れども何事にも偶發的なる韓國民の性格は一朝の小安に警戒を緩むべからず今後も良民に對しては充分慰安を與へ危懼の念を去らしむる筈なるが先づ現狀を以て之を言へば既に一段落せるものといふべし

陸軍記念日の盛況

吾が國民の忘れんと欲しても忘るゝ能はざる陸軍紀念日昨十日其第五回を迎へぬ駐韓軍司令部は例年の通り之が祝賀會を龍山同部構內に擧行し日韓官民無慮二千余の來賓に萬余の特別觀覽者ありてさしも宏壯たる會場も立錐の余地を見ざるの盛況を呈せり會場の設備を畧叙すれば先づ其入口には紅白を交互彩ぜれる大柱門ありて其前に高さ三丈余の番兵を築を固めて來賓を睥み迎かへ恐ろしさ言はんばかりなし恐る恐る門を入れば主人側の將校十餘名最と丁寧に迎へ導き己れ曩の露兵奴と撮り顧みれば何んだ馬鹿々々しい有合せの毛布で固めし模擬人形なりけり彼と是との對照頗る妙なるに怡々として歩を進めば向ふには京龍藝妓の手踊あり其左側には博多二〇加あり自轉車曲乘あり右側には妓生の舞踏あり擊劍あり相撲あり三味や太鼓の囃の音相和して宛然鐵入の淺草公園を觀るが如し特に數十の勇士が入り亂れて試合へる銃槍術及薩摩名物の棒踊りは其勇壯活潑見るからに心地能く此見物に溜飲が下がりて空き腹を催ふせる頃模擬店は開放せられたり吾先を爭ひつゝ一山越して該場に到れば蕎麥店に腹鼓を打つものたでん店に頬張るもの下戸は汁粉店に上戸は酒店に兜を冠ぶりて威勢を鼓し和氣靄々として滿場を罩め太平の瑞雲天地にたなびきぬ斯くある內に號外々々の聲響きぬ奉天の大會戰其結果如何と片唾を呑むで待ち焦かれたる乙未の當日を偲びながら價の幾干にも拘はらず之を購求むれば報に曰く食堂の東南約四百米突の處に地雷を爆發すと云ふさイザと其地點に奔り高地に駈け登れば天地も碎けんばかりの轟然たる大轟動龍捲きの如き砂烟を捲き上げて凄絕壯絕極りなし軈て四時三十分の爆竹を合圖に食堂に入れば數百坪の大地に天幕を張り詰め滿洲軍が戰地に佳節を祝する實況其儘にて寧ろ旗亭の燦めかしきに優る萬々飽くまで吾が意を得たり而して大久保司令官一場の挨拶を述べ石塚長官衆賓を代表して之に答へ朴內相韓人側を代表して亦一片の答辭を爲し君が代の奏樂に亞いで 天皇陛下萬歲を奉唱し宴を撤せり當日は料峭たる春寒頓みに薄らぎ春風醉顏を吹きて心地殊に好くさんや來賓の韓人の如きは李容九も居れば趙重應も居る敵も味方も皇軍の旭旗の下に心措きなく來會するを得しは皆是れ吾が皇の御稜威と申すべし

●詐欺的倒産取締難

韓國に於ける商業界の惡法は一にして足らざるも就中商賈上の失敗若しくは故意に破產を企て其間種々の詭計を講じ問屋筋の手前を瞞まして巧みに法網を潛り失踪若しくは廢業し苦肉の策を弄して不正の利を私しするにあり最近此弊風は商界の不景に伴ひ益甚しきを加ふ來り爲に問屋筋の困難は固より一般確實なる小賣商の迷惑一方ならず今に於て之が匡正の策を講ずるは極て切要の事なり就ては是等取締法に就き商業會議は其情を具し關係當局に對し種々交涉する處ありしも何分夫等詐術の巧妙にして確たる罪狀を構成せざると一面人權擁護上立入り調查容易ならざる等の故障により當局者も頗る之を難し折角の提案も行惱みの裡にありと雖も其の事なるが是の如きは社會制裁の薄弱なる今の過渡期に於ては免れ難き數とはいへ商業發展を蠹毒する最大の惡風なるは固より尙ほ一面同業團結の鞏固にして絕對商德を尊重する淸商連の手前に對しても實に不面目の極ならずやとは某實業家の言なり

●誤報船舶法と當局

昨十一日發行の御用紙京城日報は其附錄に四月一日より施行せらるべき筈の韓國船舶法及船舶檢查法を揭げしが該條文は度支部及農商工部と回覽の結果制定せる原案其儘にして其後閣議を經て統監の承認を得たるものとは多少の相違ありと聞く現に其第一條各項の如きは三十八年八月日韓兩國政府間に交換せる韓國沿海及內河の航行に關する約定書に抵觸せる爲め之に基準せしむべく訂正を加へたり右は始め統監府側にては條約に存在する以上は敢て訂正の要なしとせるも韓政府側にては條約は條約國法は國法必要なる箇條は之を規程し置かざるべからずと主張し其結果訂正する事となり既に統監の承認を經たる由事小なるも斯かる誤報を傳へられては甚だ迷惑也と當局者は語れり

●爲替貯金受拂金額

京城郵便局二月中に於ける爲替貯金受拂口數金額左の如し

種別	口數	金額
受入の部		
郵便爲替振出高	三、五〇五	三五九、一〇〇、四九〇
外國爲替振出高	七九	一、九〇六、一八〇
郵便取立金受入高	六五七	九、八〇一、八二五
郵便貯金預高	一、六六八	一一、〇四九、六六八
振出貯金受入高	三三九	五五五、五六七、二二五
切手貯金預高	五七	二四、八〇〇
拂出の部		
郵便爲替拂渡高	三、三二四	八二、五〇一、七三〇
外國爲替拂渡高	四四	一、四九一、三三〇
郵便取立金拂渡高	七五三	五、三三五、七七〇
郵便貯金拂渡高	四九二	六、三八四、五三八
振替貯金拂渡高	七五	一八、〇四九、八〇一

●安州暴動後の開市

本月五日安州に於ての開市は暴動嫌疑者引致後始めての開市なりして被引致者は槪して城內屈指の商人にして其の家族等が凡ての風說を流布せしめたる爲め他來の出荷人來らず米穀商の如きは常例の三分の一出店せしに過ぎず市場稅徵收に對しては苦情を唱ふる者無く靜穩に五圓〇五錢を徵收したる由にて被引致者の家族は目下稍謹愼の意を表し居れりと云ふ

●京城局の郵便物數

二月中に於ける全局の郵便物數如左

通常郵便 引受數 三九九、六〇八 配達數 三〇六、六九九

小包郵便

引受 種別	個數	配達 種別	個數
通常	二、〇六〇	通常	五、三三九
價格表記	八四三	價格表記	三
代金引換	二、八〇三	代金引換	六九六
計		計	五、九三七

代金引換金額 五、九四〇圓六六〇
價格表記金額 一、九三二圓六五〇 代金引換金額 九、三三六圓八一五

●切斷葉錢地金入札

切斷葉錢地金四十余萬貫の入札は來る十四日韓國銀行內に於て行はるゝ筈なるが該入札は豫て大阪及横濱等の商人に指名入札を爲さしめ當日は單に開札に止ることにて從來の相場よりすれば一貫目一圓二三十錢なるを以て其の總高金は約五六十萬圓に上るべしと云ふ

●通信管署取扱金高

通信管理局が本年一月一日より二月二十八日に至る韓國政府の國庫金取扱高は中央金庫の拂込高二百六萬九千二百二十七圓九十二錢六厘にして韓國中央金庫へ代り金受取高は五十七萬三千七百五十四圓十錢一厘なりと云ふ

●洪神父最後の祈禱

旅順港滯在中なる宣敎師洪神父は去る九日安重根に對し罪惡告白の訓諭を爲したる結果安は翻然悔悟し宗敎上の懺悔を爲したるに依り洪神父は昨十日最後の祈禱を安に施したりと云ふ

●陸軍紀念祭に勅使

一昨十日陸軍紀念祭に付き韓皇は金二千圓を賜與遊ばされ侍從院卿尹德榮氏は韓皇より承寧府總管趙民熙氏は太皇帝より共に勅使として差遣されたりと

●居留地規程の調印

豫て淸韓兩國間に交涉中なりし在韓淸國專管居留地は今般愈々双方の間に協議纏り十一日午後二時淸國總領事馬廷亮氏統監府に出頭し調印を了したりと

●日韓合同大懇親會

明十三日仁川日本公園八坂樓に於て開催せらるゝ日韓人合同大懇親會は其後申込者頗る多く二百數十名に達したる由なれば空前の盛況を呈するならんと

●仁川居留民會流會

仁川居留民會を去る九日開會する筈なりしも出席者定數に滿たざりし爲め流會となり十一日夜更に開會せし筈なり

●紀念日と鐵道乘客

一昨陸軍紀念日に京龍間に運轉せし臨時列車にて往復せし人員左の如し

龍山着 九百三十三人
京城着 九百六人

●新渡韓兵の先發隊

第二師團韓國守備隊の一部は横濱より一部は青森より乘船するに決し岩間少佐の率ゐる先發隊は二十五日出發の筈

●水雷艇の仁川入港

第十五水雷艇隊雲雀、鵯、隼の四艇は去る九日竹敷より仁川に入港今十二日午前七時旅順に向け拔錨する筈

●香坂夫人送別會

愛國婦人會韓國本部評議員救護部委員長として多年盡力せられたる香坂議子は今回歸朝に付き役員有志は來る十五日午後二時京城ホテルに同氏を招待し送別會を催す由

●大學設立の計畫

李鍾浩、吳間奎等は京城に韓國人を敎育する大學を設立せんと目下頻りに運動中なりと

●近藤氏の送別會

仁川官民の催しに係る近藤郵船支店長の送別會を今十二日午後六時より仁川ホテルに開く筈

●大塚課長の篤志

農商工部開拓課長大塚常三郎氏は故夫人の遺志に依り金二百圓を京城小學校に寄贈したりと

二月の金融狀況

●京城商業會議所調●

二月に入りて當地金融の景況を見るに緩漫の裡に越月せる斯界も目先舊大節季を控へ殊に季節物の仕入期に遭遇せる事とて幾分の活氣を見るならんと豫想せしも事實は全く是に反し更らに市況の活動見す依然萎靡不振の內に彷徨せり然ども一時低廉と想像されたる米價も果然弗々昇騰の傾向を示し大豆の輸出も引續き好況を持續したると牛皮牛脂の出廻り案外好調子なりしとに因り資金の需用も從ふて多きを加へ又一方には本月に入りて綿布綿糸の輸出入商及官烟販賣組合に於て其仕入代金の支拂方法を變更したる關係上著しく貸出の激增預金の減少を來したるも是れ單に取引決濟方法の變改に因るものなれば市況に對しては特殊の現象を生ずるに至らず要するに金融界は依然閑散を免れず韓人側に在りては舊曆歲末年始に相當せる事なれば各自其決濟の爲め多少の繁忙を來したりと雖とも舊正月に入りてよりは淸韓兩國人は例により凡て其商取引を休止したるため預金は漸次增加し貸出は全く停止の姿を呈し一層振はざるに至れり要するに目下金融界の閑散なるは直接商取引の不振によるは固よりの事なれども畢竟に亦た母國の影響を受け何れも不安の念を抱き新事業の興らざるは勿論凡て平和の狀態にある事正に之が一因たるなり併し乍ら漸次春陽に向ふと共に自ら人氣引立諸種の建築土木等の工事起るの日は茲に面目を一新するに至らんか

●平壤炭の輸送開始

平壤鑛業所にては近く解氷後第一回の德山海軍煉炭所送り無煙炭六千四百噸の轉送を開始する由なるが右に付十一日頃より一日約五十輛の車輛を運用して五百噸づゝ元山より鐵道を以て龜二浦まで輸送し龜二浦にては昨年の結氷前積殘りとなりたる二千噸を之に加へ來る二十日頃迄に滊船巴丸（三千六百噸積）及び雲海丸（二千八百噸積）の二隻に積込みを了し直に海上德山に輸送すべく向ほ龜二浦に於ては滊船積込みに使用するため停車場構內に引込線を增設する事となり既に工事に着手せりと

●取引所と發起人會

既報京城取引所發起人諸氏は十二日午後六時より京城ホテルに會合し發起人會を開き兩三日中に認可を申請する由

●英領事館員送別會

大阪駐在副領事に榮轉せし京城英國總領事館員イーエーチホーム氏送別會を十三日ソンタクホテルにて開會する筈

●韓銀總裁の歸京期

市原韓國銀行總裁には既に附帶用務の完了を告げたれば來る十四五日頃東京出發歸韓の途に就く筈なりと云ふ

●菊地局長の群山行

南韓視察中の菊地商工局長は一昨十日木浦へ歸着し今十二日群山へ向へりと

●英國總領事出發 十一日午前九時二十分南大門發列車にて英國總領事ビー、デー、バトラー氏新義州に赴く

●武田少將の入京 平壤鑛業所長の同少將は十日入京天眞樓へ投宿せり

●芝本元氏の入京 日韓瓦斯社員の同氏は一昨十日入京京城ホテルに投宿

●宮村氏入京 日韓瓦斯技師工學博士の氏は十日入京京城ホテル投宿

●上林事務官歸任 滯京中なりし度支部參政課長の氏は十日開城に歸任す

●西英太郎氏退京 滯京中の佐賀農工銀行頭取の氏は十日釜山に向け出發

●秦事務官の退京 大邱財務監督局事務官の氏は十日烏致院に向け出發せり

●森本所長の歸任 滯京中なりし水原林業事務所長の氏は一昨十日歸任す

龍山通信

（十一日 支局發）

▲水道敷設 龍山民團區域民團所管道路に水道敷設の件は客年同民團と水道會社との交涉不調に了りしも內部所管に屬する元町通りは會社にて敷設の許可を得たるやにて會社は南大門外より工事を進め目下青葉町（青坡）に及べり斯くて愈々元町通の工事を了らば龍山に於ても元町居住者のみは水道の水を飲用することを得べし而して他方面の居留民は指を咬へて見物する譯となるなり同一民團區域內に住みながら然る始末ともならば少々變なものなり民團理事者の不行屆きか水道會社の不埒か何れにしても成る樣にしか成らぬものなれば早く埒を明けるが可しといふもあり▲委員會の開會 昨十一日午後一時より過日の民會にて委員附託となりたる第一號議案即ち老松町道路改修の件に關し委員等は民團役場樓上に會し調査の結果に就て審議する處ありたり▲旅行者へ注意 龜二浦鐵橋流間連絡船は目下流氷の爲め出帆時間早く爲めに京釜京義二線の直通列車とは接續せざる由▲軍參謀長出張 明石少將は木下二等主計を隨へ今朝滿洲に向け出發せし筈

▲治外法螺▼

龍山に新築された軍司令官々舍は十日の紀念日に當り來賓一同の觀覽に供した其構造の立派な事實に眼を驚かすばかりである或人は此家に住む者は少なく共五千圓位の月給取りで無いと持ち切れぬ、到底日本の大將の給料位ひでは室內と構內の掃除費に要つて仕舞ふと云ふて居た、本當に厄介な家を建てた者だ▲近來は司法廳抔が出來たので金線服の御役人が非常に殖へた、處か是等の人は文官か朝鮮へ來て急に帶劍、帝帽となつたから其變動の惡い事、實に話にならぬ、殊に甚だしいのは禮式である、擧手を爲たのは宜敷いが其儘尻をニューと突出して御仕儀をする不體さ加減つたらない、斯樣な先生達は金筋に採用する前に一二ケ月巡查敎習所にでも入れて禮式の稽古をやらす必要がある▲或人がこふ云ふ事を語つて居た、近來出來る陸軍の將官は大抵陸軍大學出身でハイカラが多い追々には此のハイカラが大將や司令官になるのだ、而して其時代には乃木さんや、大久保さんや黑木さんの樣な型の人はなくなる、ハイカラ將軍は懸引は甘くても實戰は駄目だ、武骨一遍の人は度胸が違ふ、三將軍の如きは再び得られぬ好大將だ云々と▲陸軍紀念日の餘興で最も壯快を極めたのは騎兵の馬術で、最も面白かつたのは軍樂隊の假裝ダンスと工兵隊の薩摩踊りとであつた、日頃規律的に動作を爲て居る軍隊は斯樣な戲れを演じても多數の人間がチャンと足並を揃へて少しも亂れぬ、每日踊り杯の稽古をして居る藝者衆でも十人も並んで踊るとマチ〳〵になつて實に見苦しい、何を爲ても規律の下に生活して居る人でなければ駄目だ。

哀れなる狂人

▽自ら油を浴びて火葬

仁川本町一丁目居住の坂本拾吉(五七)と云ふが商賣に失敗して精神に異狀を呈し仁川病院其他韓人家屋に闖入して亂暴を働き仁川署の手に保護を加へられつゝある由は曩に報道せしが其後去る九日午後四時引取人なき儘同署より行旅病者として仁川病院分院に收容する事とせり擔架に乘せて同分院第一號病室に連れ込み看護婦の手厚き看護を受け同夜粥二椀を喫食して其儘靜かに横臥せしにぞ看護婦は万一の疾走を慮れ本人着用の帯にて同人の兩足を緊く結束し小用を辨ずべく約五分間餘同室を離れたるに隣室なる行旅病者の室に當りて異樣なる叫喚の聲聞ゆるにぞ志村監理者を初め看護婦使丁等は訝しみつゝ同室に馳せ附け見れば怎は抑も如何に室内より廊下一面は炎々たる火の海を漂はせ开が中に右拾吉は全身火塗れとなりて打ち倒れ居る其樣の有樣に膽を抜かさんばかりに仰天し直に應援を得て消し止むるを得尚ほ面顔より腹部手足に至るまで眞黒燒けになり居る拾吉に對しては折よく來合せし尾崎院長の手にて應急の手當を加へしが翌十日午前一時遂ひに死亡せり右の報に接し仁川署よりも警官出張して實地を檢視せしに全く精神錯亂の結果隣室なる洋燈及廊下の下洋燈を取外し我れと自分に之れが油を注ぎて火葬に附し自殺を圖りたるものなりとは近頃哀れなる事柄と云ふべし

脱線が因の惡戲

▽兵を派して沿線の警戒

去る三日雞井、岑城間に於て暴徒等機關車脱線せしめたる以來各地に惡戲を企つるものあり去る四日午前五時頃雞井、岑城間大覘南端に於て四五寸位の石を線路間に三個を挾み置きたるを巡回中の工夫は發見せり同日午後六時頃岑城汗浦間板橋兩端の踏切にて五六寸位の石を線路の左右に挾み置きたり七日午前七時五十分汗浦岑城間汗浦の南約半里村落附近に於て五寸位の石を左右の線路に挾み置きたるも巡回中の工夫發見せり以上は取除きたる後に於て調査したるに其の状況何れも幼稚にして暴徒の行爲とも認むるものなきも時節柄容易ならざる事件に付金川及平山分遣所よりは夫々兵を派し特に線路を巡視せしめつゝあり尚ほ鐵道の重要を知らしむる爲め金川郡守と協議し附近の村民に諭し特に巡回者を村民よりも出さしめつゝありと

鯨一網三百頭

▽其の價格約六千圓と

伊豆伊東荒井沖に於て去る八日午前中海豚の一種なるゴント鯨群集し來れるより漁民等は大に狂喜して網を張りて待ち構ひたるに正午頃より續々と群集し遂に三百餘頭を捕獲したるが長さは五尺より十五尺のものにして一頭の値段十五圓乃至二十圓なりと云ふ

馬賊の破獄逃亡

▽安東縣の出來事
▽韓國内地へ逃走

淸國安東知縣衙門に拘禁中の死刑乃至三ヶ年以上の刑に處せられたる馬賊十四名は去る三月七日午前二時逃走を企て之を制止せんとしたる支那巡長及巡警等に打撲傷を加へ單發銃十一挺彈藥三十發を奪取し何れへか逃走したるが韓國内地へ入り込みたる形跡あるを以て目下其筋に於て嚴重に搜索中なりと

天安郡の不穩

▽村民財務署に押掛る

忠淸北道天安郡遠一面の村民一千餘名は酒煙草稅の免除又は減稅を迫らんとて去る五日天安財務署に押掛けんとしたるを其筋に於て探知し説諭を加へ解散せしめ目下鎭靜に歸したるも尚ほ嚴戒中なり

果して事實か

▽不埒なる憲兵曹長

慶尙北道英城憲兵分遣所○○○曹長と云ふは去る四十一年中暴徒歸順者に向つて歸順票交附の際一人より手數料として七八十圓宛の金品を徵收なし居し事去月同所にて討伐中取押へたる暴徒取調の結果判明せし爲め目下一問題となれりとの事なるが果して事實とすれば等閑に附し難き問題と云ふべし

大邱で暴徒就縛

▽各地を荒せし不穩漢

暴徒の首魁金甲八、李南山の部下に屬して隆熙二年より三年迄慶北各地を荒したる朴基玉事朴文伊、又朴俊伊(三〇)といふ一人にて三ッの名前を有せる兇賊大邱市中に潜伏し居たるを一昨日該地官憲に於て逮捕したりと云ふが此奴は曾つて兇惡を逞ふせし時には常に短銃を携へ居りたる者にて新寧郡金千瑞方に闖入し同人の一子某を拉去し永川郡無沙面銅山洞鄭鳳兌方に連行き之を人質として千瑞より金百圓を强取し次に小川郡古鵠洞長某方に闖入して金五十兩を强奪、次に永川邑曹富山より金品を强奪し次に永川郡無沙面玉一洞孫某方に闖入して脅迫し金二十兩を强奪したる曲者にて目下其共犯は該地監獄に在りと云ふ

賊金品を强奪す

△傷けて後二百圓奪取す

六日午後八時江西郡草里面下二里松江洞金世殷方へ賊徒數名侵入金品を强奪したりとの急報により當時偵察中の憲兵二名補助員二名は日本人三名を案内者として同日午後十時三十分同地へ出張取調べたるに賊徒は何れも普通韓装したる八名は火繩銃一挺銃八刀八を携帶し同日午後四時半前記金世殷方へ侵入し同人を縛し左足に刀傷を加へ脊部には數個處の打撲傷を負はしめたる後金二百圓及雜品を强奪し同六時頃に至り何れにか逃走せり其の筋にては目下嚴重索査中なり

賊憲兵と衝突す

▽器具雜品數點を鹵獲

去る七日交河憲兵分遣所上等兵一名補助員二名は賊徒搜索中坡州郡條黑面基谷里(交河の東方約二里半)の地點に於て賊十二名と衝突之れを潰走せしめ器具雜品數點を鹵獲したり

●龍山の火事

▽幸ひに類燒なく鎭火

一昨十日夜十二時過龍山本町建築受負業小林佐五郎方裏二階より火を出し同家の八分通を燒拂ひ同午前二時半全く鎭火するに至りしが幸にも炎燒當時は風靜かに家屋亦た土藏仕立にて壁厚く隣家に對し自からなる防火の障となりし等にて附近は未だ人煙疎らに人寄りの極て遲かりしにも關はらず附近延燒の厄を免かれしめたり出火原因に就ては發火階上の場所は火の氣のなき處にして當夜も家内は一同階下に臥し出火當時も家内は全く知らず向家の主人より類附けられたる程の始末にて未詳なるが附近通行者の言によれば失火以前約一時の頃同階上に提灯の火影にて何か物色する樣を認めたりとの事なれば或は提灯の遺忘れに起因せしやも計られずと傳ふる者もあり

●不穩なる駒の成行

▽刺客二名決心して東上

再度大阪角力協會を脱して常陸山部屋に入れる放駒は斷乎として大阪に歸らざる旨を通牒して勇山の仲裁を拒絕するや勇山は大に憤慨し目に物見せて吳れんと去る五日夜乾分二名を引連れて上京したりと云ふが二人の乾分は決死の覺悟を爲せる由にて事態不穩の形勢あり爲めに其筋にては刑事數名を派して彼等一行着京後の行動を監視しつゝありと云ふが果して然らば駒の命も危ぶし

●京城禁酒會

同會にては十二日午後七時より旭町二丁目名古屋城に於て京城禁酒會員の親睦會を開く筈なるが餘興として薩摩琵琶、蓄音器等の催しある由

●昨日の暴風（午後一時報）

昨日膠州灣附近に現はれし低氣壓は東進せんとし午後八時頃より北東風吹き氣壓の下降を始め豫期の如く漸次曇天となり昨朝黄海北部に來り平壤附近を通過せんとし午前十時最低氣壓七百六十一粍一に達し益々風勢加はり市中塵埃を飛ばし午後一時には風力毎秒十三米七を測れりと

●韓人の縊死

龍山元町一丁目保高德松方雇手村木小屋にて年令三十四五の韓人男縊死を遂げ居たるを昨十一日午前八時過ぎ發見檢屍を爲したるに死後十時間位を經たる者なりしと屍体は依例洞長に引渡さる

●泥醉者の説諭

靜岡縣平民龍山櫻町村田きみ方同居羽生尙一(三三)は十日午後十一時半頃市内の飮食店を飮み廻り果ては泥醉して老櫻町の路上に横臥し居たるを警官に認められ其夜は警察の御厄介に相成り十一日朝説諭放還

●微笑會

本土曜日午後三時より京城日本人商業會議所樓上に於て圓山太嶺禪師の例會提唱並に法話あり參聽隨意のこと

曾我廼家の喜劇

▽初日は愈々本晚より

此度壽座へ乘込たる大坂喜劇の元祖曾我廼家は昨十一日より開演の筈の處一日の繰延をなして愈々本晚より興行する其の藝題は左の如し

第一番目 第一回目藝題 御祝儀寶の入船 一場
第二番目 轉宅祝ひ 三場
第三番目 式三番曳引ぬきだんまり
第四番目 壷阪 二場
第五番目 寶の拍手 二場
大切 大花火大仕掛ダイナマイト

目と耳

▲京城座 同座本晚の替り狂言は「妻の自白」の通し物にして其の役割は左の如し
醫師木村(伊井)書生(花井)仕出(西尾)夫人龍子(桂木)浦邊初子(金澤)大塚少尉(川崎)畑島權七(高島)紳士(上田)衛兵(瀨)仕出(久保田)番兵(藤井)荒川少尉(眞部)民子(三好)寶田雲三(田中)櫻田勇吉(瀨川)陸軍大佐橋島輝忠(美崎)

▲仁川歌舞伎座 同座伊東文夫一派の初日本晚の藝題は第一史劇「會津白虎隊」三幕第二「人肉質入裁判」一場第三喜劇「發音器」一場にして其の配役は白虎隊志士(泉)瀧澤伸之丞、アントニオ(池内)朝日嶽政之助、ベニス公爵(芳川)白虎隊志士、サラリノ(吉井)グラッシャノ、衆公(横山)チリッサ(寶井)千太郎、バッサニオ(小泉)下島)白河千太郎姉鶴代、ポーシャ(藤女)れ靜(小伊東)興太の女房(東)近眼の消公(北秋)弟万二郎(高井)瀧澤小左衛門、猶太人シャイロック(伊東)

蒙古の活佛

▽奇妙奇態の迷信

▲支那は迷信國であるとは今更事新らしく云ふまでもないが中には實に滑稽なとが多い、これも其一例である蒙古の活佛と云ふは字の如く蒙古人から活たる佛として尊敬せらるゝもので其勢力範圍は蒙古は勿論伊犁新疆に及び西比利亞のギリヤーク種も又尊敬して居るのであるからして其勢力は遙かに蒙古諸王の上に出でゝ政治上にも隱然たる勢力を握つて居る、今の活佛は

▲年齢四十四五で大庫倫の寺院に居るのであるが禮拜の爲めに群集する善男善女は門後常に市をなすの有樣であるが素より迷信の生む信仰であるからして其活佛なるものが申分のない活佛であるかどうかは言ふに足らない然れども蒙古人は活佛を活佛として

▲人間以上視し其素行の如きは一向頓着しない故に活佛の索行の如き凡人以下にして風上にも置けないやうなこともあるが敢て怪しまない迷信の程度と來ては甚だしいものがあつて

▲活佛の兩便が藥となつて蒙古人間に珍重されて居るのを見ても其斑を窺ふことが出來やう兩便が藥として服用されると云へば余り馬鹿々々しき話なれ蒙古人間には活佛の

▲尿水は無臭無色なりと信せられて毎日禮拜する蒙古人は恭しくこれを頂戴して歸り病あるときはこれを服して唯一の妙藥なりとし大便の如きはこれを乾して少量の紅を交へ丸藥として信者の乞ふがまゝに授ければこれを

▲安產の妙藥なりと信じて孕婦が服藥するなど殆んど吾人の想像以外より以上の如く蒙古人が信仰の中心となりて活佛と信せらるゝ喇嘛は如何にして擧げらるゝかと問ふにこれ又頗る奇妙にして現在の活佛が歿すれば喇嘛敎の信せらるゝ區域内の何れを問はず又其階級を論せず聊かにても尋常の小兒と異れる兒の生るゝあればこれを召して先代活佛の持物即ち拂子とか袈裟とか帽とかを見せてこれは俺のものだと手に取れば此子こう

▲活佛の生れ變りしものなりとして直にこの子を活佛と尊敬することゝなるものにて一時其撰び方を抽籤法に依りし事ありし由なるも間もなくそれは異の活佛を得難しと云ふ譯にて又々以上の如く復舊したりと云ふ、以上は日露戰役當時沖横川の志士等と共に特別任務の爲め深く蒙古に入り大庫倫に滯在し達賴喇嘛よりアルチニタライ(海中の珍寶の意)と號けられたる某氏の談片である

平民文庫

▲壽町小學校前多々見醫師は實に親切な御方であるそれ許りではなく其の腕前も確實である只だ〱惜しむらくは言葉の少なきを(信者)▲旭町三丁目○○庵とか云ふ家は人氣商賣でありながら月々の○○が惡い樣に聞いて居るが事實かしら(商人)▲元軍司令部前某家の小間使君は鬼も十八、番茶も出花とか云ふ最も樂しみな年頃なのにいつも御病氣なのか本町五丁目某藥局にきては大番頭の色男と御話しをして居られる(一人者)▲或る家で十八九の素人としてはあまりいきで、商賣人としては温和し過ぎる美人を見受けた少しは自分の心も動かされた或る晩醉ひたる四十前後の人と睦しそうに手をしいて居たのを見た時は變な心持ちがした(浪々主人)▲南山町元三友館の主人公中口君の御住居を御承知の御方は御知せ下さい(友人)▲京城の或る登記所の事務官で○川とか何田とか云ふ食はせものは將來韓國の大統領を希望して居るそうな(注進生)▲一淑女さんへ御答へ廣先生は親切で教へて下さいますから知らせ致します(一弟子女)▲我樂多君よ米倉町古屋敷に咲き初めたる薔の花は工藤病院前の新潟屋でしよ前者肥大……(質問子)▲質問子の投書後半卑猥なるを以て切り捨てた(係)▲借金の山も脊負つて逃ぐれば存外輕いものさ馬山から鼻唄交りで當地へ逃げ込んだ松高と云ふ二十四五歲のチヨコマンは當地にても盛んに無銭遊興をして夫れを自慢顔に吹聽して居る加かも自分は居候の餅に不埒千萬である(大馬鹿者)▲本町京城座の附近の那賀とか尾久とか云ふ雜貨屋の主人は以前安東縣から友人の行李を擔いで逃げたさかい云ふ面白からぬ噂のある人だが當地でも各問屋から品物を取り寄せては賣り食ひをしてる相だ又困つたら逃げるだらう(審知人)▲當地太平町に○○恒產會社と云ふのがある其所の社長の前○さんは前日も留守勝ちであつたが何うした理由か九日の夜會社へ出られた所が運惡く韓人夫八名が龍山迄の賃金一圓七十五錢の請求に來て居たので散々の体であつた社長さんも彼れでは一向睨みが利かない(太平町○○縣)

◉共進會團体參觀者募集◉

本月自十一日至五月九日 日間 名古屋開催
自十六日至六月十三日
賃金半額其他便宜希望者至急申込あれ
旭町一丁目四六民團役所横理髮所 松井

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

三月十二日 舊二月朔日 七赤友引丙子納

△一白 澁滯の日なり特異の取引新事開始凶其他會心の日なり△二黑 誘惑若くは要求に傾くなかれ他は大抵吉△三碧 色情痴情の破れを戒しむ新事及變更の事効なし△四綠 婚姻及兒女の事談には吉其他不振の日なり新事見合せの事△五黃 靜寧の日なり仕官就職入學門良好部下家族の事に頻繁あり△六白 音信異事を報ずるあり其他靜穩の日とす△七赤 色情の難及口舌の難を愼しむべし新事及旅行凶△八白 親族の者より損害受け易し其他大抵吉△九紫 離間中絶爭論起り易し盜害横領防ぐべし

●天氣豫報（自十一日午後六時 至十二日午後六時）

北西風曇後晴

十一日（華氏） 最高溫度 四六、四 最低溫度 一九、九

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目　電話一千四百〇九　ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●店員雇入　十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)
●小供入用　但十五歳以下至急入用　龍山元町三　日韓組米店(電三四三)
●被雇度　三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す官衙を望む　氏名在社(一〇)
●農園　野菜類　協同者を求む但し經驗ある確實なる人　電話一二四二番方　ないとう

物件部

●電話讓渡又は貸付　九何〇番直接面談に限る　本町四　賛化堂藥店
●貸家　平家一戸建間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町
●瓦葺平家　建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし　電話七四番へ
●求貸家　永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳　氏名在社
●繪葉書讓渡　日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし　氏名在社(九)

廣告

入院隨意
龍山新市街山一町
内科　小兒科　眼科
原醫院

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士　中島貞信

●●滋養と牛乳●●
純良　牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
馬車配達
●●衛生と消毒●●

入院隨意
内外科　小兒病　梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長陸軍軍醫正　高井貞治
電話(二二六)

◉筑前琵琶教授◉
月友會本部指南　京城旭町四丁目一番地　鶴崎賢定
月友會支部教授　龍山本町二丁目廿二番地　東司照子

[illegible]

營業科目

韓官衙御用品調達

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
一切

委託販賣

東京ランバーゲ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山韓國鹽合資會社食鹽特約

本社　京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所　東京京橋南鍋町一丁目十番地電新橋三六九二

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭　アサヒサッポロビール　精白米
右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雜貨　卸問屋　㊇西　西崎嘉七本店
京城本町六丁目
電話二一〇電略(ニカ)
振替貯金口座韓七番

貨物運送取扱
税關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送

内國通運株式會社

京城南大門驛前　京城支店　電話一七九番　電話七〇八番
仁川驛前　仁川出張所　電話五一一番
草梁驛前　釜山驛前　釜山出張所　電話九一六番　電話六三七番
龍山驛構内　龍山出張所　電話二〇六番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん臓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席　鐵冷温泉
電話千四百十一番

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋　藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

神戸養生分院
京城相生町(南門湯横)
京城梅毒病院
◎花柳病専門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
院長醫學得業士　廣田鉼平
(電話一一九四)

韓國金屬商元祖
和洋金物商
舶來品は直輸入
日本製品は産地特約
京城本町五丁目
新案特許品數種着荷
破天荒の大勉強
⊞藤本藤次郎本店
長電話四五番　電信略號(ク)
振替貯金口座第一三四二二番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計　米國アンソニヤ時計
韓國特約販賣店
獨逸國スカンジャ自轉車特約販賣店
時計卸商　仁川本町三丁目　喜多金光堂本店　電話七五〇番
時計卸小賣　京城本町二丁目　喜多金光堂支店　電話千十五番

京城南山町(元日本人倶樂部事)
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

資本金　一千萬圓
積立金　五百四十萬圓
株式會社　第一銀行京城支店
電話一一番　六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店　東京市日本橋區兜町
支店及出張所　大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

辯護士
特許辯理士
京城明治町二丁目(佛國教會前)
岩田仙宗
電話三五四番

韓國銀行
本店用　電話(長)一三三、一二六〇
當座係用　電話(長)一二三六一
用度係用　電話一三三二
來客用　電話一六〇一
臨時建築部用　電話一三二六

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、義州、安東縣、
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山(以上日本)釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國)大連、(清國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

㊅㊇㊈
特約販賣
大上商店
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
(電話二五一番)
自製
和洋酒、㊅精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本食膳各種特約販賣
製
御注文に依り商品切手調進仕候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合　醉月
電話二六五番

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋　唐川商店
電話二六一番

[illegible]

京城鐘路の喰物は何んたろ…
裁判所前の洋食店鐘路軒の
松茸めしさ
酒一本外和洋料理五品付
一人前六十錢
價が安くてうまくてはらにたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二九番　客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道　東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道　彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎、
北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、
山陰道　大聖寺、富山、伏木、新湊、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道　龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、
南海道　申本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道　函館、小樽、札幌、
台灣　臺北、臺南、
清韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾五萬圓
株式會社　十八銀行京城支店
京城南大門通
(電話四二〇)
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店　長崎市築町
支店出張所　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國　其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金　一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)